

#1012 リアルタイムデータで進化する現場管理



■■ 現場詳細 ■■ 福島県双葉郡大熊町

大熊下野上地区基盤整備工事

【施工数量】 範囲：9,000m² 土量：盛土4,000m³ 切土5,000m³

【ソリューション】 Smart Construction Dashboard

【稼働建機】 PC200i/PC128USi/PC78USi

(掲載月：2025年5月)

業務の効率化と生産性の向上に期待

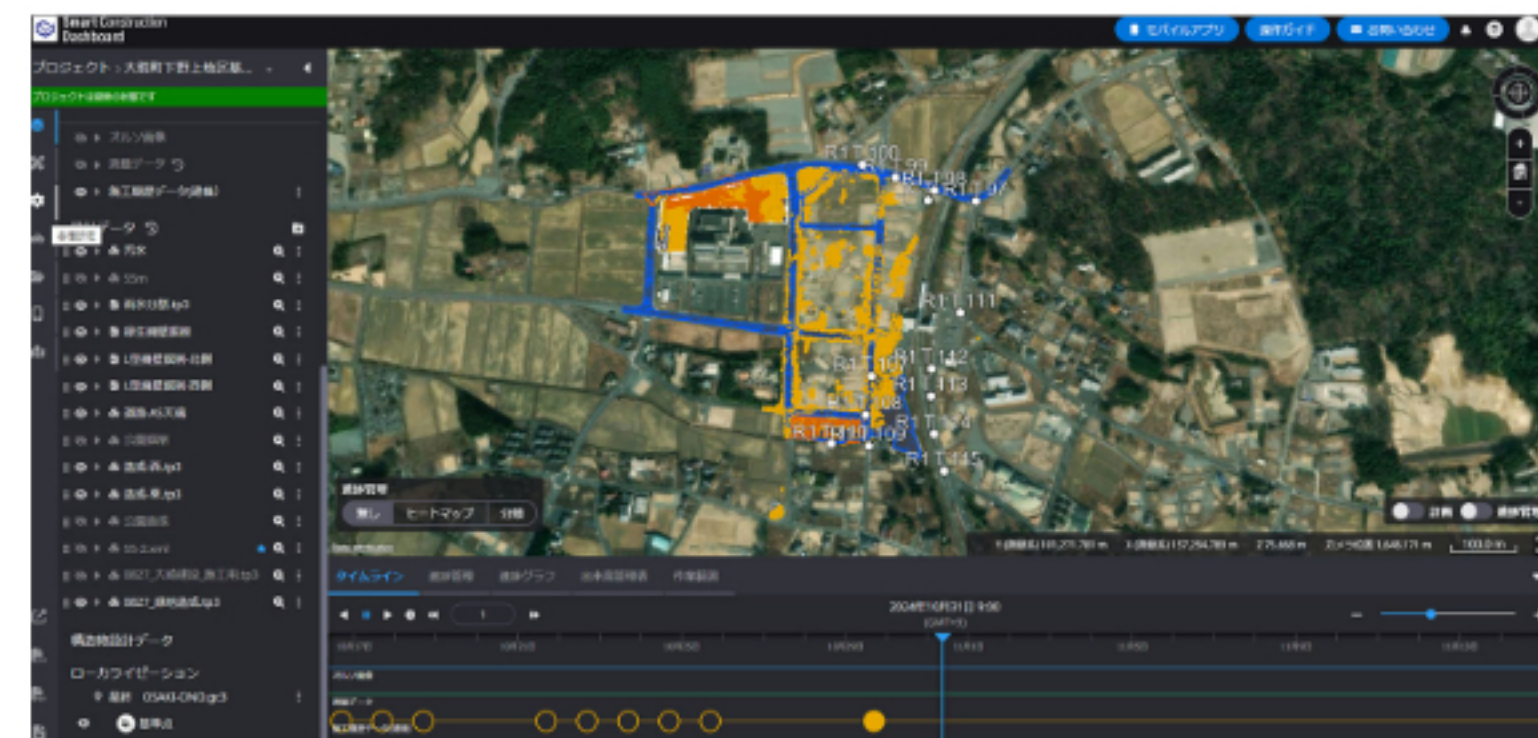


■■ 導入経緯 ■■

大崎建設(株) 土木部ICT担当 氏田進一さん

今回、Smart Construction Dashboardの導入により、日々の出来形管理にかかる工数を効率化したいという思いがありました。現場での測量後、事務所に戻って図面と照らし合わせながらの土量の計算は、煩雑な作業のため工数や時間がかかり残業時間も大幅に増えていました。また計測した結果を図面に反映する際に人的ミスが発生するリスクもあり、そこで、デジタルツールを活用した省人化を進めることで、業務の効率化と生産性の向上を図りたいと考えました。

Smart Construction Dashboardで業務改善



■■ 導入効果 ■■

大崎建設(株) 土木部ICT担当 氏田進一さん

今回、Smart Construction Dashboardのヒートマップを活用することで、施工に必要な土量が簡単に把握でき、算出がとても楽になりました。また、3台のICT建機の施工履歴から出来形データを即座に確認できるため、進捗状況、形状の確認もスムーズになりました。これらの改善により、約3時間の残業が減り、時間的な余裕が生まれました。作業員や管理者は業務が効率化されたことで心にも余裕が生まれました。今回のSmart Construction Dashboardの導入により、現場の運営がよりスマートで効率的なものとなりました。

(株)大崎建設 様

100年を超える実績と信頼(昭和35年創業)



土木部 ICT担当 氏田進一さん